アップグレード ガイド

日本語

Prinergy

バージョン 2.2

731-00072B Rev B

www.creo.com

Prinergy

バージョン 2.2

アップグレード ガイド

creo™

著作権

Copyright © 2004 Creo Inc. All rights reserved.

Creo の書面による明示的な許可なくして、本マニュアルのすべてまたは一部を複製、頒布、出版、変更、または組み込むことはできません。本マニュアルの複製、頒布、出版、変更、または組み込みが許可されている場合は、著者帰属、商標凡例、または著作権表示を変更または削除することはできません。

Creo, Inc. の書面による明示的な許可なくして、電子的、機械的、複写、記録、またはその他のいかなる形式や方法でも、本ドキュメントのすべてまたは一部を複製、検索システムに格納、出版、商取引の開発を目的とした使用、または伝送することはできません。

本マニュアルは、Adobe Systems Incorporated の PDF (Portable Document Format) 形式によっても頒布されています。お客様は、社内使用を目的として PDF ファイルから本マニュアルを複製することができます。PDF ファイルからコピーを作成する場合は、マニュアル全体を複製する必要があります。

商標

Creo 文字商標、Creo ロゴ、および本マニュアルで参照されている Creo の製品とサービスの名前は、Creo, Inc. の商標です。

Adobe、Acrobat、Acrobat のロゴ、および PDF は米国特許商標局に登録されている Adobe Systems Inc. の登録商標であり、その他の国で登録されている場合もあります。

Apple、AppleTalk、AppleShare、EtherTalk、LocalTalk、Macintosh、および Laserwriter は、Apple Computer, Inc. の商標です。

Microsoft、Microsoft Windows NT、Microsoft Windows 2000、および Windows は、Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

Xerox は、Xerox Corporation の登録商標です。

その他の銘柄または製品名は、各所有者の商標または登録商標です。

FCC 準拠

本マニュアルで参照されている Creo 装置は、クラス A コンピューティングデバイスに対する FCC 規定のパート 15 の必要条件に準拠しています。住宅地域における Creo 装置の運用によってラジオまたはテレビの受信に有害な干渉が引き起こされる可能性があり、そのような場合は、お客様がご自分で干渉を除去する必要があります。

責任の制限

製品、ソフトウェア、またはサービスは、「現状有姿」および「利用可能な状態」で提供されています。お客様の契約書に明白に記述されている場合を除いては、Creo, Inc. は、商品性、および特定目的に対する適合性の保証その他一切の保証を明示であると黙示であるとを問わず、一切負うものではありません。

Creo Inc. は以下から生じた直接的、非直接的、付随的、特殊的、間接的、または懲罰的な損害 (損害にはこれらすべてを含みますが、それだけに限りません)、利益の損失、業務上の信用、使用、データ、または無形資産の損失については一切責任を負わないことに、お客様は理解して同意されたものとします。(i) 製品またはソフトウェアの使用またはその能力の欠如、(ii) 購入された製品、商品、データ、ソフトウェア、情報、またはサービスから生じた代用の商品およびサービスの調達価格、(iii) 製品、ソフトウェア、またはデータの許諾されていないアクセスまたは変更、(iv) 第三者の声明または行為、(v) 製品、ソフトウェア、またサービスに関連するその他のいかなる事項。

本マニュアルのテキストおよび図は、説明および参照を目的として提供されています。これらが基づいている仕様は変更される可能性があります。本マニュアルの内容は、予告なしに変更されることがあります。Creo, Inc. または Creo, Inc. の子会社は、本マニュアルにおける技術上または編集上の誤りまたは脱漏の責任は一切負いません。また、付随的、間接的、非直接的、または特殊的な損害 (本マニュアルの使用から生じた使用喪失、データの損失または変更、遅延、あるいは利益または貯蓄の損失を含みますが、それだけに限りません) についても一切責任を負いません。

特許

本製品は、以下の米国特許のうちの 1 つまたは複数を対象としています。

RE37,376	5,325,217	5,532,728	5,742,743	5,996,499	6,158,345	6,353,216
4,558,302	5,339,176	5,561,691	5,764,374	5,998,067	6,159,659	6,366,339
4,743,091	5,343,059	5,568,595	5,764,381	6,003,442	6,164,637	6,371,026
4,992,864	5,355,446	5,576,754	5,771,794	6,014,471	6,180,325	6,377,739
5,049,901	5,359,451	5,579,115	5,785,309	6,016,752	6,181,362	6,387,597
5,079,721	5,359,458	5,592,309	5,813,346	6,031,932	6,181,439	6,396,422
5,103,407	5,367,360	5,594,556	5,818,498	6,043,865	6,186,068	6,396,618
5,111,308	5,384,648	5,600,448	5,854,883	6,060,208	6,189,452	6,407,849
5,113,249	5,384,899	5,608,822	5,861,904	6,063,528	6,191,882	6,414,755
5,122,871	5,412,491	5,615,282	5,861,992	6,063,546	6,204,874	6,422,801
5,124,547	5,412,737	5,625,766	5,875,288	6,072,518	6,208,369	6,435,091
5,132,723	5,420,702	5,636,330	5,894,342	6,090,529	6,214,276	6,441,914
5,150,225	5,420,722	5,649,220	5,900,981	6,096,461	6,217,965	6,450,092
5,153,769	5,459,505	5,650,076	5,934,196	6,098,544	6,260,482	6,456,396
5,155,782	5,473,733	5,652,804	5,942,137	6,107,011	6,266,080	6,476,931
5,157,516	5,481,379	5,680,129	5,946,426	6,112,663	6,266,134	6,477,955
5,208,818	5,488,906	5,691,823	5,947,028	6,115,056	6,267,054	6,509,903
5,208,888	5,497,252	5,691,828	5,958,647	6,121,996	6,268,948	
5,247,174	5,508,828	5,696,393	5,966,504	6,130,702	6,283,589	
5,249,067	5,509,561	5,699,174	5,969,872	6,134,393	6,295,076	
5,283,140	5,517,359	5,699,740	5,973,801	6,136,509	6,299,572	
5,291,273	5,519,852	5,708,736	5,986,819	6,137,580	6,318,266	
5,323,248	5,526,143	5,713,287	5,995,475	6,147,789	6,352,816	

Creo Inc.
3700 Gilmore Way
Burnaby, B.C., Canada
V5G 4M1
電話： 1-604-451-2700
FAX: 1-604-437-9891
http://www.creo.com

731-00072B Rev B
２００４年１月改訂

目次

このマニュアルの使い方 vii

このマニュアルの対象ユーザー ... viii
このマニュアルの表記規則 ... viii
フォント ... viii
記号 ... ix
PDF ドキュメント ... ix
詳細情報 ... ix

1 アップグレード チェックリスト 1

アップグレード チェックリスト ... 2

2 Prinergy 2.2 へのサーバーのアップグレード 5

概要 ... 6
Prinergy のバージョンについて ... 6
作業を始める前に ... 7
システム要件 ... 7
用意するもの ... 9
オペレーティング システムの確認 ... 9
現在の Prinergy バージョンの確認 ... 10
現在の InSite バージョンの確認 ... 10
Oracle データベースの最終バックアップの確認 ... 10
Creo へのアップグレードの開始準備ができていることの連絡 ... 12
アップグレード ツールおよび Prinergy アップグレードのコピー ... 13
Pre-Installation Requirement Check アプリケーションの実行 ... 15
Prinergy システムのメンテナンス モードへの切り替え ... 15
サーバーのアップグレード ... 16
PANTONE ライブラリの再ロード ... 27
Prinergy ライセンス キーのアップデート ... 27
JTP の確認 ... 28
既存の JTP に対する新機能の有効化 ... 28
Creo の Trap JTP と Color Match JTP の追加 ... 29
メンテナンス モードの解除 ... 30

3 Workshop のアップグレード 31

Prinergy 2.2.1.y への Workshop のアップグレード ... 32
CAU を介した Workshop クライアントのアップグレード ... 32

4 アップグレードの完了 35

Creo へのアップグレード完了の連絡 ... 36

A トラブルシューティングのヒント 37
アップグレード時に発生する一般的な問題 38
Mac 環境で Virtual Proofing System (VPS) のインストールに失敗する 38
Workshop と Virtual Proofing System (VPS) のアイコンが正しくない 38
Staccato スクリーニングが機能しない 39
Prinergy を何度も再起動する必要がある 39
スタートアップ時に Snmpapi.dll のエラー メッセージが表示される 39
CAU シェアが正しくマウントされない 40
重要なセキュリティのアップデートまたは SP4 を適用した後、Prinergy Workshop (PC) をインストールまたはアンインストールできない 40

B Prinergy 2.1 に戻す 41
概要 42
サーバーおよびレンダー ステーションでの Prinergy 2.1 へのダウングレード 42
クライアントでの Prinergy 2.1 のダウングレード 43

C Workshop インストーラの起動 45
Workshop インストーラの起動 46
インストールの完了 49
Workshop のアップグレード 52
PC への Creo Virtual Proofing System のインストール 53

D クライアントから Prinergy 2.2 をアンインストール 55
クライアントから Prinergy 2.2 をアンインストール 56

用語集 57

索引 61

このマニュアルの使い方

このマニュアルの対象ユーザー viii
このマニュアルの表記規則 viii
PDF ドキュメント ix
詳細情報 ix

このマニュアルの対象ユーザー

このマニュアルは、Prinergy ® 2.1.0.y システムを Prinergy 2.2.1.y にアップグレードするユーザーを対象としています。Prinergy サーバーを 2.2.1.y にアップデートする方法、および Workshop クライアント マシンを 2.2.1.y にアップデートする方法について説明します。

このマニュアルを使用するには次の知識が必要です。

- 実際のプリプレスの操作についての知識
- Windows® オペレーティング システムの使用に必要な知識
- Macintosh® オペレーティング システムの使用に必要な知識

このマニュアルは、Creo システムのハードウェア、ソフトウェア、およびネットワーク コンポーネントがすべてインストールおよび設定されており、それらが正しく動作していることを想定して記述されています。

このマニュアルの表記規則

ここでは、このマニュアルで使用されるフォント、用語、および記号について説明します。

フォント

太字は、ダイアログ ボックスのボタンおよびその他の項目、ファイル名、フォルダ、メニュー名およびメニュー コマンドを表します。

斜体は、マニュアルの他の章、書籍名、または他のマニュアル名を表します。

Frutiger は、図および表のキャプションを表します。

ゴシック形文字 は、コンピュータの画面に表示されるメッセージおよび実際の入力が必要な情報を表します。

英小文字は、キーボードのキー名、またはキーの組み合わせを表します。

記号



重要: この記号は、プロセスの遅延、または機能、信頼性、品質の低下を引き起こす可能性がある項目を示します。



注意: この記号は、検討の必要な可能性がある追加情報を示します。



ヒント: この記号は、タスクをより速く、または容易に行うために役立つ情報を示します。

PDF ドキュメント

このマニュアルは、Prinergy 2.2 インストール CD の PDF (Portable Document Format) 形式によっても提供されています。

PDF ドキュメントは、Adobe Acrobat Reader を使用してオンライン表示したり、印刷することが可能です。マニュアルを印刷する場合、著作権情報や免責事項を含むマニュアル全体を印刷してください。

詳細情報

ドキュメント、トレーニング コース、ダウンロード、サービスやサポートの連絡先については、Creo の Web サイト *www.creo.com* を参照してください。

1

アップグレード チェックリスト

アップグレード チェックリスト 2

アップグレード チェックリスト

次のチェックリストは、Prinergy システムのアップグレードで実行する主な手順をまとめたものです (Prinergy バージョン番号の説明については、6 ページの「Prinergy のバージョンについて」を参照してください)。

注意: このチェックリストを作業手順として使用しないでください。このマニュアルからチェックリストを切り離し、手順の各項目を完了したときにチェックする用紙として使用することをお勧めします。

手順	参照	√
第 2 章、Prinergy 2.2 へのサーバーのアップグレード		
1. アップグレードに必要な条件を満たしており、必要なリソースが揃っていることを確認します。	7 ページの「作業を始める前に」	
2. 各サーバーおよびレンダー ステーションで実行されているオペレーティング システムを確認します。	9 ページの「オペレーティング システムの確認」	
3. 現在の Prinergy バージョンを確認します。	10 ページの「現在の Prinergy バージョンの確認」	
4. InSite がインストールされていて、Prinergy 2.2 で InSite の使用を続行する場合は、InSite のバージョンが (すべてのサーバーおよびレンダーステーションで) 3.5.4 以降であることを確認します。前のバージョンをすべてアンインストールするか、アップグレードしてください。	10 ページの「現在の InSite バージョンの確認」	
5. Oracle データベースのバックアップを実行します。	10 ページの「Oracle データベースの最終バックアップの確認」	
6. eCentral を使用するか、Response Center に電話をかけ、システムをアップグレードすることを Creo に連絡してください。	12 ページの「Creo へのアップグレードの開始準備ができていることの連絡」	
7. Pre-Installation Requirement Check アプリケーション (PreCheck.exe) を実行します。	15 ページの「Pre-Installation Requirement Check アプリケーションの実行」	

手順	参照	√
8. システムをメンテナンス モードにします。	15 ページの「Prinergy システムのメンテナンス モードへの切り替え」	
9. PUpdate.exe を実行してサーバーをアップグレードします。	16 ページの「サーバーのアップグレード」	
10. Prinergy 2.2 アップグレードの新機能を購入した場合は、新規ライセンス キーを入力します。	27 ページの「Prinergy ライセンス キーのアップデート」	
11. PANTONE® ライブラリを再ロードします。		
12. 各サーバーに通常実行している JTP が存在することを確認します。	28 ページの「JTP の確認」	
13. 既存の JTP に対して新機能を有効化します。	28 ページの「既存の JTP に対する新機能の有効化」	
14. システムのメンテナンス モードを解除します。	30 ページの「メンテナンス モードの解除」	
第 3 章の「Workshop のアップグレード」		
15. 各クライアントで Workshop を Prinergy 2.2.1.y にアップグレードします。	32 ページの「Prinergy 2.2.1.y への Workshop のアップグレード」	
第 4 章の「アップグレードの完了」		
16. eCentral を使用するか、Response Center に電話をかけ、システムを正常にアップグレードしたことを Creo に連絡してください。実行中の Prinergy バージョンを示してください。	36 ページの「Creo へのアップグレード完了の連絡」	

2

Prinergy 2.2 へのサーバーのアップグレード

概要 6
作業を始める前に 7
Creo へのアップグレードの開始準備ができていることの連絡 12
アップグレード ツールおよび Prinergy アップグレードのコピー ...13
Pre-Installation Requirement Check アプリケーションの実行 15
Prinergy システムのメンテナンス モードへの切り替え 15
サーバーのアップグレード 16
PANTONE ライブラリの再ロード 27
Prinergy ライセンス キーのアップデート 27
JTP の確認 28
既存の JTP に対する新機能の有効化 28
Creo の Trap JTP と Color Match JTP の追加 29
メンテナンス モードの解除 30

概要

このガイドを使用して、Prinergy システムを 2.2.1.y にアップグレードします。第 1 章の「アップグレード チェックリスト」のチェックリストには、アップグレードで実行する主な手順がまとめられています。

平均的なシステムのアップグレードは、完了までに数時間かかることがあります。アップグレードの実行には十分な時間をとり、この間に Prinergy システムでジョブを処理できないことをご理解ください。

Creo Response Center にアップグレードの前後またはアップグレード中に連絡する必要がある場合は、以下の電話番号を使用してください。

- 北米 : 1-800-472-2727
- ヨーロッパ : +32-2-352-3090

Prinergy のバージョンについて

Prinergy ソフトウェア アップグレードは、以下を表す 4 桁の a.b.x.y という形式に従います。

- a はメジャー リリースです
- b はマイナー リリースです
- x はメジャー アップグレードです
- y はマイナー アップデートです

たとえば、2.2.1.0 はメジャー アップグレード、およびマイナー リリース (メジャー アップグレードでは、y は常に 0 です) であり、2.2.1.1 はマイナー アップデートです (y の数値は新しいマイナー アップデートがリリースされるたびに増加します)。

このガイドを使用して、Prinergy 2.2.1.0 メジャー アップグレードおよび利用可能な 2.2.1.y マイナー アップデートをインストールします。システム アップグレードが完了すると、Prinergy バージョンは 2.2.1.y になります (システム アップグレードの際にインストールされたマイナー アップデートに応じて y は 0 以降の数字になります)。

注意 : Prinergy 2.2 をインストールすると、Prinergy 2.0.6 およびそれ以前のバージョンのアンインストール情報はすべて削除されます。

作業を始める前に

システム要件

アップグレードを開始する前に、以下のシステム要件を満たしていることを確認してください。ご使用のシステムが、以下のシステム要件をすべて満たしていない場合は、アップグレードしないでください。

- Prinergy 2.2 インストール キーがある。
- 新機能、またはまだライセンスの付与されていない機能 (Prinergy 2.2 に付属) の操作を管理するためのアップデートされたライセンス キーがある。

  注: Prinergy 2.2 でライセンスを必要とする機能を Prinergy の以前のバージョンで使用していた場合は、これらの機能を購入してライセンスを取得するまで無効になります。

  注: スクリーニングのライセンス (例、Staccato) は厳密に、Prinergy 2.2 の JTP により強制されます。この機能を購入しないで Prinergy の以前のバージョンを使用しており、Prinergy 2.2 で使用し続ける場合、購入する必要があります。購入後に新しいライセンス キーを受け取ります。
- Prinergy と相互作用する可能性のある製品のベータテストを行っていない。
- 特殊なパスや実行ファイルなどを使用した、カスタム設定または非標準的な設定を行っていない。
- すべてのサーバーおよびレンダー ステーションが、Service Pack 3 またはそれ以降のバージョンを装備した Windows 2000 で起動している。詳細については、9 ページの「オペレーティング システムの確認」を参照してください。
- Workshop クライアント マシンが Service Pack 3 またはそれ以降のバージョンを装備した Windows 2000 で起動しているか、Mac OS 9.2、または Mac 10.1.3 以降のバージョンで起動している。

- Mac クライアントの場合、以下の Java（MRJ とも呼ばれます）バージョンがインストールされている。
  - Mac OS 9.2 の場合、MRJ 2.2.5 が必要です。

    注： Prinergy 2.2 クライアント インストーラでは、Mac OS 9 システムに MRJ 2.2.5 が自動的にインストールされます。
  - Mac OS 10.1.3-10.1.5 の場合、MRJ 3.2 が必要です (Java 1.3.1 Update 1 とも呼ばれます)。最新の MRJ バージョンをインストールしていることを確認するには、**Apple** メニューから [**System Preferences] > [Software Update]** を選択し、選択可能な Java のアップデートをインストールします。
  - Mac OS 10.2 の場合、MRJ 3.3 が含まれています。アップデートは必要ありません。
- Mac OS 9.2 クライアントの場合、CarbonLib 1.6 またはそれ以降がインストールされます (CAU により自動的にアップデートされます)。
- システムが Prinergy バージョン 2.1.0.0 以降であること。10 ページの「現在の Prinergy バージョンの確認」を参照してください。
- InSite を使用している場合、InSite バージョンが 3.5.4 以降であり、InSite 2.0 の評価版はインストールされていないこと。10 ページの「現在の InSite バージョンの確認」を参照してください。
- CS Xpose を使用する場合、CS Xpose のバージョンが 1.01 以降であること。Prinergy には CS Xpose 1.01 および CS Xpose 2.0 を使用できることが確認されています。
- Print Console を使用する場合、Creo で認定されたように Print Console バージョンが 2.0.1.24 以降であること。

  Print Console バージョンを確認するには、[**System (システム)**] メニューから [**Print Console について**] を選択します。バージョンが 2.0.1.24 以降でない場合は、Creo サポート センターまでお問い合わせください。担当者が Print Console のアップグレードを実行します。
- Oracle データベース バックアップが過去 24 時間以内に正常に完了したことを確認します。10 ページの「Oracle データベースの最終バックアップの確認」を参照してください。

- Prinergy サーバー マシンおよび Workshop クライアント マシンで Adobe Acrobat 5.0.5 を実行している。
- Aladin Systems StuffIt Expander™ が各 Mac クライアント マシンにインストールされていること。StuffIt Expander はウェブサイト、*www.stuffit.com* にて無料でご利用になれます。

システム要件、Prinergy 2.2 アップグレード中の処理、アップグレードによるインストール内容についての詳細は、Prinergy 2.2 アップグレード CD で **Prinergy-2.2.1.0-Readme.txt** ファイルを参照してください。

用意するもの

- Prinergy 2.2 アップグレード CD、またはアップグレード ファイルをダウンロードするための eCentral (*http://ecentral.creo.com*) へのアクセス
- 第1章の「アップグレード チェックリスト」— このチェックリストを使用して、Prinergy システムのアップグレードを行います。

オペレーティング システムの確認

- Prinergy システムを 2.2 にアップグレードするには、すべての Prinergy サーバーおよびレンダー ステーションで最低限 Service Pack 3 を装備した Windows 2000 が実行されている必要があります。

サーバーのオペレーティング システムを確認するには

1. デスクトップで、[**マイ コンピュータ**] を右クリックし、[**プロパティ**] を選択します。

   [システムのプロパティ] ダイアログ ボックスが表示されます。

2. [**全般**] タブで、[**システム**] の下にオペレーティング システムおよび Service Pack のレベルが一覧表示されています。

   以下の条件のいずれか 1 つでも当てはまる場合、Prinergy アップグレードを実行しないでください。

   - オペレーティング システムが Windows 2000 ではない。
   - Service Pack が SP3 より下のバージョンである。
   - Service Pack のレベルが表示されていない。

アップグレードを実行できる状態のお客様は、Creo サポート センターにご連絡ください。

オペレーティング システムが Service Pack 3 以降を装備した Windows 2000 である場合は、次の「現在の Prinergy バージョンの確認」に進みます。

現在の Prinergy バージョンの確認

お使いの Prinergy システムを 2.2 にアップグレードするには、システムが 2.1.0.0 以降である必要があります。

現在の Prinergy バージョンを確認するには

1. 管理者 (通常 Administrator または ARAXI) としてプライマリ サーバーにログオンします。
2. Prinergy Administrator の左ウィンドウ枠で、アップデート レベルを確認します。

現在の InSite バージョンの確認

現在、InSite を使用して、Prinergy 2.2 で InSite を引き続き使用する場合、InSite のバージョンは 3.5.4 以降でなければなりません。

InSite のバージョンを確認するには、『InSite Administration』ホームページをチェックしてください。

Oracle データベースの最終バックアップの確認

Prinergy 2.2 のアップグレードに失敗して、Prinergy の旧バージョンに戻る必要がある場合のために、PPU ではサーバーを 2.2.1.y にアップグレードする前に、プライマリ サーバーの Oracle データベースを含むシステムのスナップショットを行います。スナップショットではデータベースの複製が作成されるので、必要であればオリジナルの状態に復元できます。

データベースのスナップショットは、24 時間以内に正常に完了したデータベースのバックアップに基づいています。

[Prinergy Online Backup] オプション、または [Basic Backup] オプションがあるかどうかに応じて、最終バックアップが完了したときに確認する方法が 2 つあります。

- [Prinergy Online Backup] がある場合、Prinergy Administrator を通して最終の完了済みバックアップを確認します。
- [Basic Backup] のみがある場合、Oracle Backup Manager を通して最終の完了済みバックアップを確認します。

[Prinergy Online Backup] および [Basic Backup] の詳細については、『Prinergy システム管理ガイド』を参照してください。

最後の [Online Backup] が完了した時刻を確認するには

➢ [Prinergy Administrator] ウィンドウの左下コーナーにあるボックスをチェックします。

ボックスにバックアップ ステータスが表示されます。

注: お使いのシステムは、特定の時間をおいて (一般に 8 時間後) バックアップが正常に実行されたかを、自動的に確認するように設定されています。システムで確認チェックが完了した後のみに、正しいバックアップ ステータスが表示されます。確認チェックが完了する前にバックアップ ステータスをチェックする場合、表示される情報は以前のバックアップのステータスのものです。

成功したバックアップが過去 24 時間以内に完了している場合は、13 ページの「アップグレード ツールおよび Prinergy アップグレードのコピー」に進みます。

成功したバックアップが過去 24 時間以内に完了していない場合、続行する前にデータベースをバックアップする必要があります。データベースをバックアップするための指示は、『*Prinergy* システム管理ガイド』を参照してください。

最後の [Basic Backup] が完了した時刻を確認するには

1. プライマリ サーバーで、Windows の [**Start**] メニューから [**Run**] を選択します。

   [Run] ダイアログ ボックスが表示されます。

2. [**Open**] ボックスに「`cmd`」と入力して [**OK**] をクリックします。

   コマンド プロンプト ウィンドウが表示されます。

3. プロンプトに「ORACLEBACKUPMANAGER」と入力して ENTER キーを押します。

   Araxi_OracleMgr> プロンプトが表示されます。

4. 「 SHOW BACKUPTIMES 」と入力して ENTER キーを押します。

   最終の完全および追加分バックアップの開始、終了時間が表示されます。

   [**LAST_FULL_BACKUP_FINISH_TIME**] が過去 24 時間以内であるかどうかを確認します。

5. Araxi_OracleMgr> プロンプトに、「exit」と入力して、ENTER キーを押します。

6. D:> プロンプトに「exit」と入力してから、ENTER キーを押し、コマンド プロンプト ウィンドウを閉じます。

成功したバックアップが過去 24 時間以内に完了している場合は、アップグレード ツールおよび Prinergy アップグレードのコピーに進みます。

成功したバックアップが過去 24 時間以内に完了していない場合、続行する前にデータベースをバックアップする必要があります。データベースをバックアップするための指示は、『*Prinergy* システム管理ガイド』を参照してください。

Creo へのアップグレードの開始準備ができていることの連絡

アップグレードを開始する前に、システムをアップグレードすることを Creo に連絡してください。eCentral ユーザーであるかないかによって、以下の 2 とおりの方法でこの連絡を行うことができます。

eCentral ユーザーに登録している場合

1. eCentral (*http://ecentral.creo.com*) にログインします。
2. ページの先頭で、[**サポート要求**] をクリックします。
3. [Request Support(サポート要求)] ページで、[**Submit New Request (要求の送信)**] をクリックします。

4. 次のボックスに書き込んで要求を完了します。
   - **Product(製品)** — Prinergy システムを選択します
   - **Problem Description(問題の説明)** — `Prinergy 2.2 eCentral Upgrade` と入力します。
   - **Details(詳細)** — アップグレードを実行する日付を入力します
   - **Severity(緊急度)** — **Low** を選択します。
5. [**Submit Request(要求の送信)**] をクリックします
6. **Service Request ID** を書き留めます。

eCentral ユーザーに登録していない場合

1. Creo サポート センターに電話をかけます。
2. サポート センターの担当者に、Prinergy 2.2 へのアップグレードを予定していることをお伝えいただき、お尋ねする情報をご提供いただいて、アップグレードを実行する準備ができていることを確認してください。

アップグレード ツールおよび Prinergy アップグレードのコピー

2.2.1.0 メジャー アップグレードおよび利用可能な 2.2.1.y マイナー アップデートで Prinergy システムをアップグレードするには、PPU.exe v2.2.1.0 以降および PUpdate.exe v2.2.1.0 以降が必要です。バージョン番号を確認するには、ファイルを右クリックして、[**Properties (プロパティ)**] > [**Version (バージョン)**] タブを選択します。

Prinergy 2.2 Update CD から、または eCentral (*http://ecentral.creo.com*) の登録ユーザーである場合は eCentral から PPU.exe、PUpdate.exe および任意の Prinergy アップグレードを、各サーバーおよびレンダー ステーションに作成した [**アップデート**] フォルダにコピーしてください。

ヒント : 将来の Prinergy アップグレード / アップデートも含め、eCentral に新規または修正済みの Prinergy の資料やダウンロードがないか、定期的にチェックしてください。eCentral の登録ユーザーではない場合は、*http://ecentral.creo.com/* でオンライン登録できます。

重要： ppu.exe、PUpdate.exe、およびアップデート ファイル (*.ppu) を各サーバーおよびレンダー ステーションにコピーする必要があります。プライマリ サーバーだけにコピーするのではなく、各セカンダリ サーバーにも同じようにフォルダ内のファイルをコピーしてください。セカンダリ サーバーから共有フォルダに接続してアップデートしようとすると、セカンダリ サーバーのアップデート中にプライマリ サーバーが再起動されるか切断されたときに、アップグレードに失敗します。

PPU、PUpdate、およびアップデート ファイルをサーバーにコピーするには

1. 十分な空き容量のあるローカル ドライブに、[**Updates**] というフォルダを作成します。

   CD または eCentral からコピーする内容は、約 400 MB です。[**アップデート**] フォルダはジョブ ドライブ (通常 J: または G:) に作成することをお勧めします。通常、ジョブ ドライブには十分な空き容量があります。ジョブ ドライブに十分な空き容量がないか、サーバーにジョブ ドライブが存在しない場合、[DataLog] ドライブ (一般的には E:) を使用できます。[システム] ドライブにフォルダを作成しないでください。

2. Prinergy 2.2 アップグレード CD のコンテンツを [**アップデート**] フォルダにあるサーバーにコピー (または eCentral からコンテンツをダウンロード) します。

   コンテンツには、以下が含まれます。

   - PUpdate.exe v2.2.1.0 以降
   - PPU.exe v2.2.1.0 以降
   - PreCheck.exe
   - Prinergy 2.2.1.0 メジャー アップグレード
   - 利用可能な 2.2.1.y マイナー アップデート
   - 各アップデートの Readme.txt ファイル
   - 『Prinergy 2.2 アップグレード ガイド』(このマニュアル)

3. お使いのシステムの各サーバーに対して手順 1 および 2 を繰り返します。

注意： 上記の手順 2 で CD からコピーされたファイルは、アップグレードが正常に完了した後、[**Updates**] フォルダから削除できます。

Pre-Installation Requirement Check アプリケーションの実行

Prinergy 2.2 Pre-Installation Requirement Check アプリケーションの目的は、アップグレードの実行前に解消すべき非互換が予測される問題があるかどうかをチェックし、ユーザーに警告することです。PreCheck.exe はインストール プロセスとは異なり、Prinergy を終了せずに実行できます。

PreCheck アプリケーションを実行するには、前の手順で [**Prinergy_Upgrade**] フォルダにコピーした PreCheck.exe アプリケーションをダブルクリックします。

Prinergy システムのメンテナンス モードへの切り替え

重要: すべての作業を停止し、システムをメンテナンス モードに切り替える前に、有効な Prinergy 2.2 インストール キーがあるかを確認します。

アップグレードをインストールする前に Prinergy システムをメンテナンス モードに切り替える必要があります。このモードにすると、システムのアップグレード中に定期的なバックアップが実行される心配がありません。メンテナンス モードをオフにすると、定期的なバックアップ処理がスケジュールどおりに実行されます。

Prinergy システムをメンテナンス モードに切り替えるには

1. プライマリ サーバーで Prinergy Administrator を起動します。
2. [**Tools (ツール)**] メニューから [**Configure System (システム設定)**] を選択します。

   [Configuration Options (設定オプション)] ダイアログ ボックスが表示されます。
3. [**Maintenance (メンテナンス)**] タブの [**Maintenance Mode (メンテナンス モード)**] リストで、[**On (オン)**] を選択します。

   コンピュータを再起動することを知らせるダイアログ ボックスが表示されます。
4. [**OK**] をクリックします。

   [Configuration Options (設定オプション)] ダイアログ ボックスに戻ります。
5. [**OK**] をクリックします。

   プライマリ サーバーが自動的に再起動します。

6. (推奨) すべてのセカンダリ サーバーとレンダー ステーションを手動で再起動します。
7. Prinergy がすべてのサーバーおよびレンダー ステーションで停止されていることを確認します。

サーバーのアップグレード



重要: Mac クライアントがアップグレード中のサーバーに接続されている場合、サーバーで実行されている Services for Macintosh (SFM) が停止再起動し、クライアントの接続が切断されます。

重要: Prinergy 2.2 にアップグレードする前に、Oracle データベースのバックアップが、少なくとも 24 時間以内に正常に完了したことを確認します。

重要: **PUpdate.exe** が、**ppu.exe** およびすべてのアップデート ファイル (***.ppu**) と同じフォルダにあることを確認します。

ヒント: プライマリおよびセカンダリ サーバーのアップグレードを同時に実行するには、まずプライマリ サーバーをアップグレードし、続いてシステム内の他のサーバー (セカンダリおよびレンダー ステーション) のアップグレードを開始します。

注意: PUpdate.exe を起動した後は、GUI ウィンドウを閉じないでください。

サーバーおよびレンダー ステーションを Prinergy 2.2.1.y にアップグレードするには、18 ページの説明に従って PUpdate.exe を実行します。PUpdate.exe は自動的に次のことを行います。

- アップグレードの開始に必要な項目 (たとえば、アップデート ファイルの場所、スナップショットの出力先、およびプライマリ サーバーのインストール キーなど) の指定を求めます。
- InSite に接続している場合は、InSite サービスを停止します (InSite サービスは、アップグレードの終わりに自動的に再起動されます)。

  InSite がインストールされているサーバーは、アップグレード プロセスで InSite バージョンを確認できるように、アップグレード中に常にオンにしておく必要があります。

  注: InSite サービスが停止されると、現在 InSite にログインしている人は切断されます。アップグレードする前に InSite を使用している人がいないことを確認してください。

- InSite がインストールされているかどうか確認し、インストールされている場合、バージョンが Prinergy 2.2 と互換性があるかどうかを確認します。InSite バージョンは 3.5.6 以降でなければなりません。
- システムのスナップショットを実行します。スナップショットはシステムの複製を作成し、必要であれば元の状態に復元できます。スナップショットはメジャー アップグレードを適用する前に作成するもので、アップグレードに失敗し、Prinergy の以前のバージョンに戻す必要がある場合に使用します。
- 2.2.1.0 メジャー アップグレードおよび 2.2.1.y マイナー アップデートがインストールされます。

スナップショットで得られるコンポーネントは以下のとおりです。

- プライマリ サーバー上の Oracle データベース

  Oracle データベースのスナップショットでは、24 時間以内に行われ、正常に完了したデータベースのバックアップを使用します。24 時間以内に、正常に完了したデータベースのバックアップが行われていない場合スナップショットは続行されないため、再度実行する前にご自身でデータベースのバックアップをとる必要があります。詳細については、10 ページの「Oracle データベースの最終バックアップの確認」を参照してください。
- 以前の Prinergy バージョンに戻す場合、Creo サポート センターでスナップショットを使用する必要があり、その際にはレジストリ キーが必要です。
- 既知の除外リスト以外で、Prinergy フォルダにあるファイル

サーバーをアップデートするには

1. **PUpdate.exe** を実行します。Prinergy Update Utility が表示されます (図 1)。

   注意 : PUpdate.exe を起動した後は、GUI ウィンドウを閉じないでください。

2. ドロップダウン メニューから希望の言語を選択します。

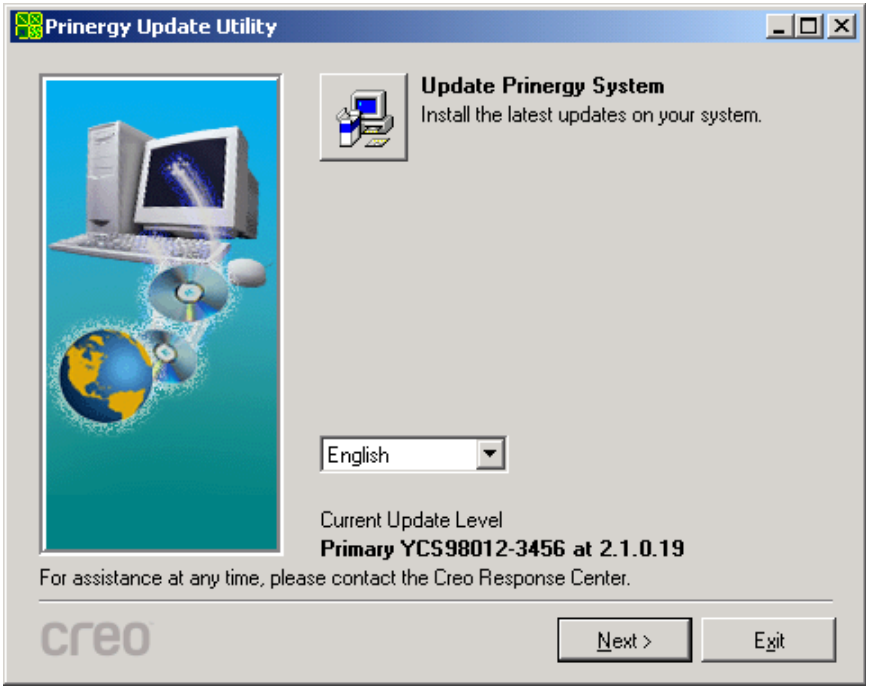


図 1: Prinergy Update Utility Wizard

3. ファイル パスを入力するか、ディレクトリ (図 2) をブラウズして、アップデートを保存する場所を指定し、[**次へ**] をクリックしてください。アップデート ファイルの一覧が表示されます (図 3)。

   注意 : 13 ページの第 2 章の「アップグレード ツールおよび Prinergy アップグレードのコピー」では、ローカル ディレクトリにアップデート ファイルをコピーするよう推奨しています。ローカル ディレクトリにファイルをコピーすることにより、ここでの手順に関する警告メッセージが表示されなくなります。

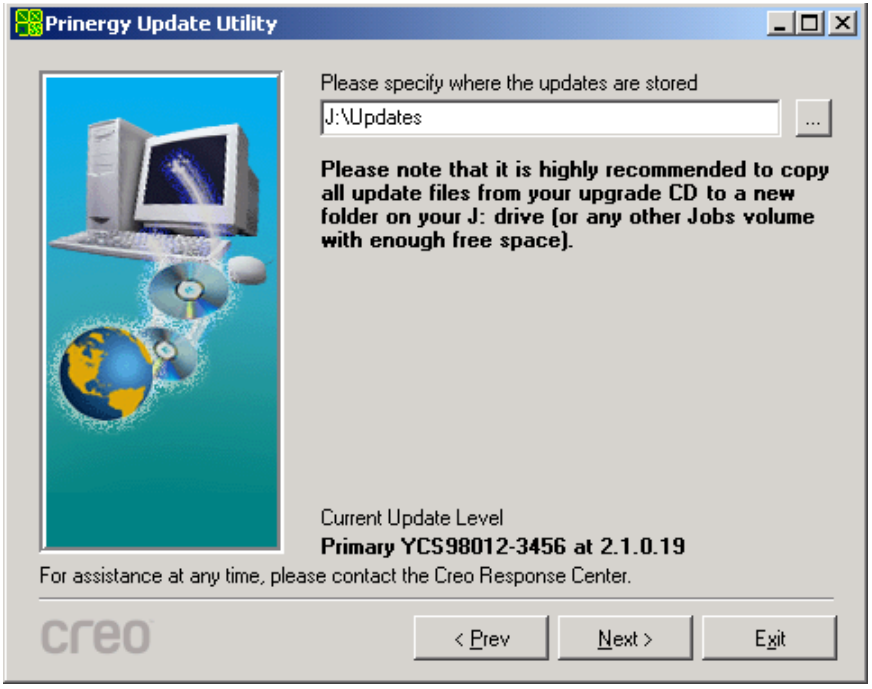


図 2: アップデートを保存する場所を指定します。

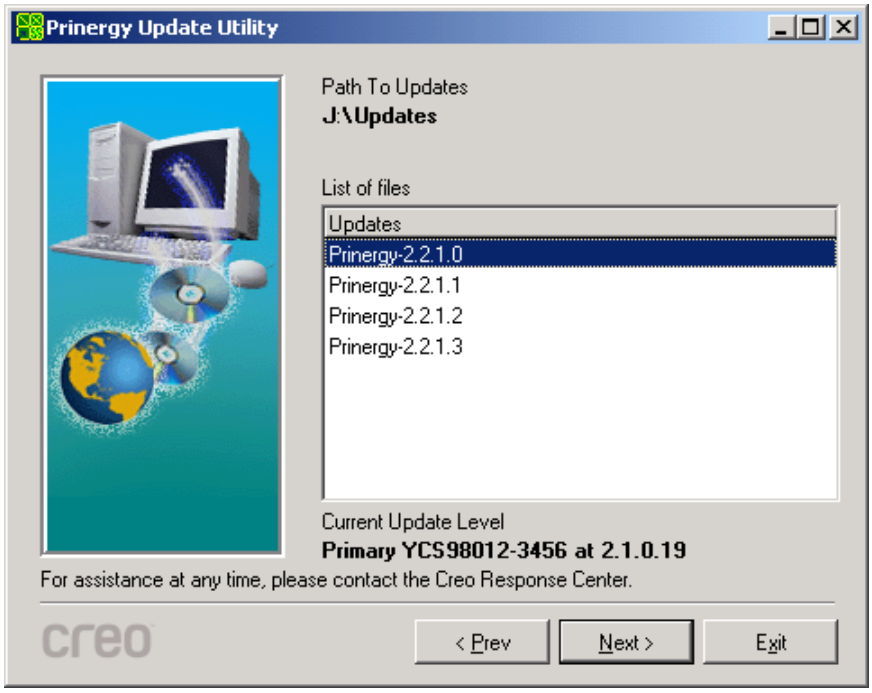


図 3: アップデート ファイル一覧

4. スナップショット用のターゲット ドライブを指定して、[**Next**] をクリックします (図 4)。

   重要: ディスク空き容量が多いドライブを指定します (通常はジョブ ドライブの 1 つです)。ウィザードにより、ネットワーク、CD、共有ドライブ、またはディスク容量が十分でないドライブは選択できません ([**Next**] ボタンが無効になります)。

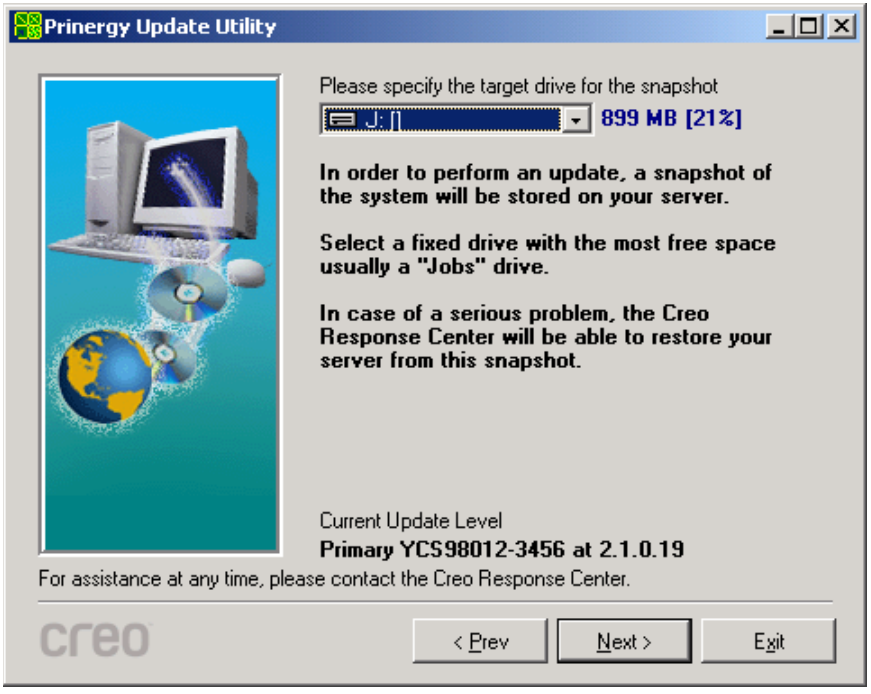


図 4: スナップショット用のターゲット ドライブを指定します。

5. インストール キーを入力 (プライマリ サーバーのみ) し、[**Next**] をクリックします (図 5)。Prinergy 2.2 インストール キーをまだ受け取っていない場合は、Creo サポート センターに連絡してください。

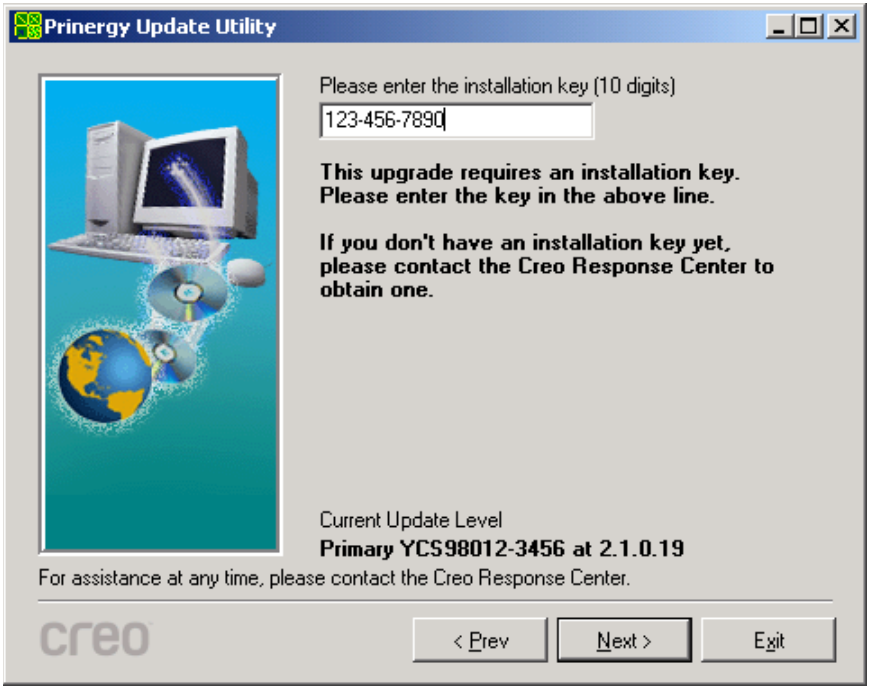


図 5: インストール キーを入力します。

重要: [**Start**] ボタン (図 6 を参照) をクリックすると、サーバー上のすべての Prinergy サービスと InSite サービス、およびサーバーに接続されたすべてのリモート InSite サービスが停止します。

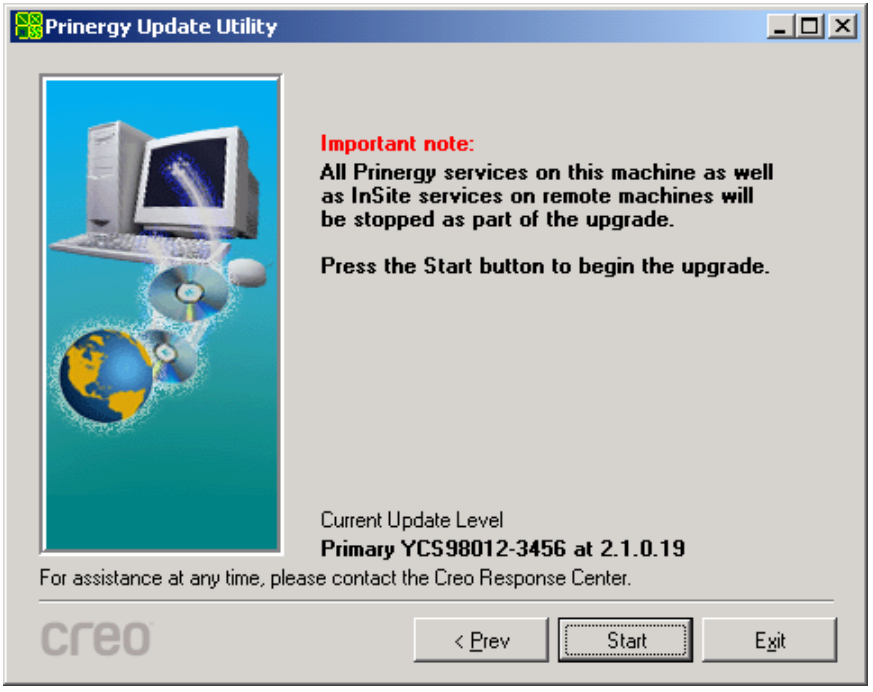


図 6: 最終確認の画面

注意: [**Start**] ボタンをクリックすると、アップグレード前およびアップグレード中に多数の内部チェックが実行され、すべてのシステム要件を満たしていない (たとえば、不正なインストール キーが入力されている、または Oracle データベースがバックアップされていないなど) 場合は、アップグレードが停止します。

6. [**Start**] ボタンを押して、アップグレードを開始します。進行状況を示す画面が表示されます (図 7)。

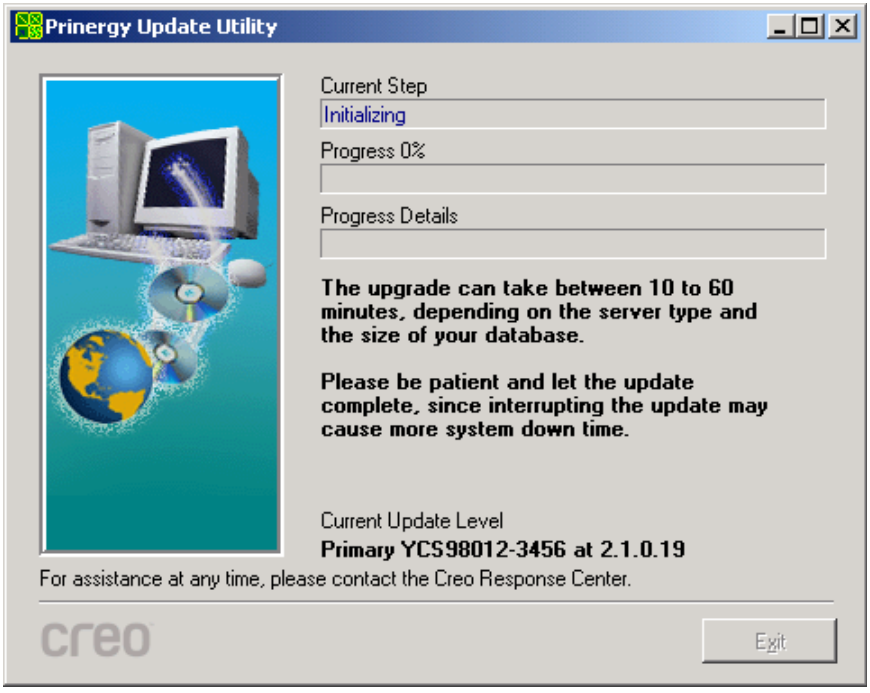


図 7: 進行状況画面

重要: アップグレード中にエラー メッセージが表示された場合は、サポートセンターにお問合せください。

一般的な進行状況画面は、図 8 のとおりです。

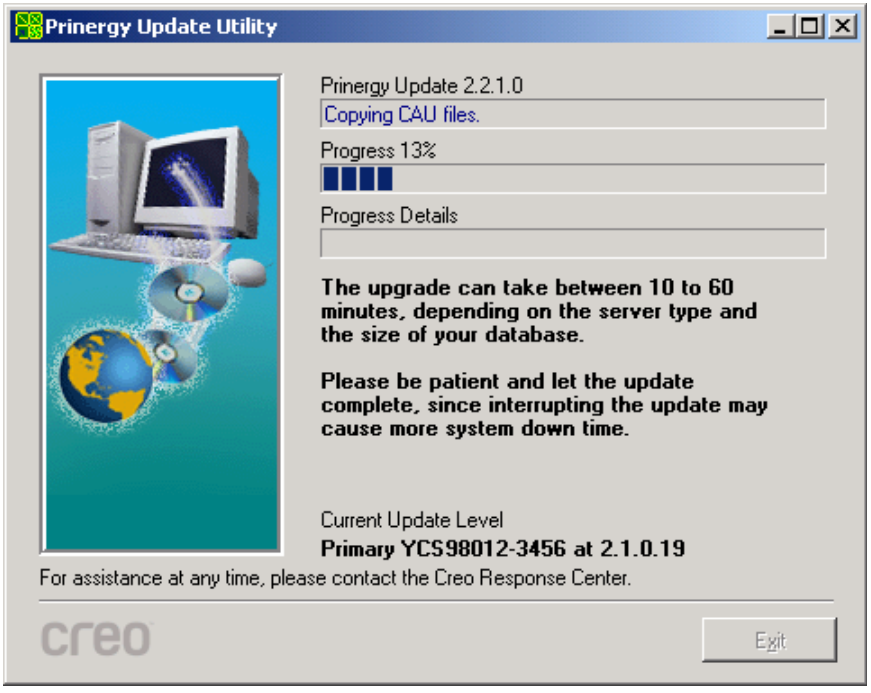


図 8: 一般的な進行状況画面

アップグレードが終了すると、正常に完了したことを示す画面が表示されます (図 9)。

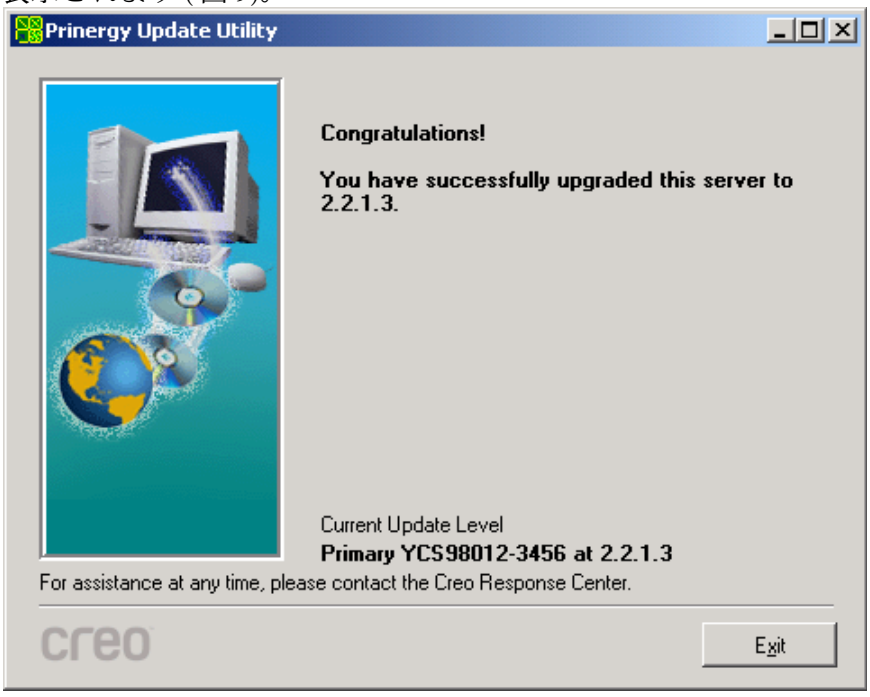


図 9: 完了時の画面

7. [**Exit**] キーを押します。[**Exit**] キーを押すと、サーバーの再起動を要求するメッセージが表示される場合があります (図 10)。再起動を要求するメッセージが表示された場合は、その他のマシンがサーバーに接続されていないことを確認してから、サーバーを手動で再起動します。

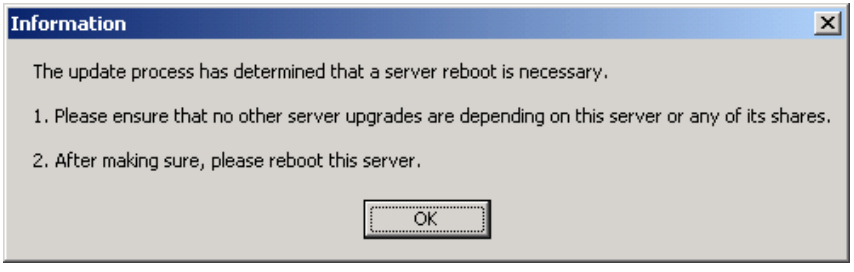


図 10: メッセージが表示された場合は再起動してください。

8. すべてのサーバーで (手順 1 から 7 の) プロセスを繰り返します。すべてのサーバーを Prinergy 2.2 にアップグレードしてから、次のセクションに進みます。

PANTONE ライブラリの再ロード

Prinergy 2.2 にシステムをアップグレードした後で、PANTONE ライブラリを再ロードしてください。これにより、前の Prinergy バージョンのライブラリではなく、Prinergy 2.2 で使用可能なライブラリのバージョンを使用することが保証されます。

PANTONE ライブラリの再ロードに関する詳細は、Prinergy Administrator オンライン ヘルプの「How to Load a PANTONE Library (PANTONE ライブラリのロード方法)」を参照してください。

Prinergy ライセンス キーのアップデート

Prinergy 2.2 アップグレードの新機能オプションを購入した場合は、新規ライセンス キーを受け取ります。このライセンス キーを Prinergy Administrator に入力する必要があります。

注意: すべてのサーバーをアップグレードするまで、他のアップグレード プロセス手順に進まないでください (前のセクションの手順 8 を参照)。

注意: Prinergy ライセンス キーをアップデートする前に、すべての関連サーバーで Prinergy 2.2 アップグレードが完了したことを確認してください。

Prinergy 2.2 の新機能オプションを購入していない場合は、既存のライセンス キーがまだ有効です。このセクションをスキップして **Prinergy を再起動**し、「JTP の確認」へ進みます。

ライセンス キーをアップデートするには

1. Prinergy が停止したことを確認します。
   手順については、Prinergy Administrator オンライン ヘルプを参照してください。
2. Prinergy Administrator のプライマリ サーバーで、[**License (ライセンス)**] メニューから、[**Manage License Key (ライセンス キーの設定)**] を選択します。

   [Prinergy License Information (Prinergy ライセンス情報)] ダイアログ ボックスが表示されます。
3. [**Enter License Key (ライセンス キーの入力)**] ボタンをクリックします。

   [Enter Prinergy License Key (Prinergy ライセンス キーの入力)] ダイアログ ボックスが表示されます。

4. [**New License Key (新規ライセンス キー)**] ボックスに、Prinergy 2.2 の新しいライセンス キーを入力します。
5. [**Apply (適用)**] をクリックします。

   [Prinergy ライセンス情報] ダイアログ ボックスが再度表示されます。
6. [**OK**] をクリックします。
7. Prinergy を再起動します。手順については、Prinergy Administrator オンライン ヘルプを参照してください。

JTP の確認

Prinergy が再起動した後、各サーバーで通常実行しているすべての JTP (Job Ticket Processors) が存在することを確認します。

JTP が実行していることを確認するには

- Prinergy Administrator の [**JTPs**] タブで、サーバーで通常実行しているすべての JTP が表示され、それぞれが [**Ready**] ステータスであることを確認します。

既存の JTP に対する新機能の有効化

Prinergy 2.2 アップグレードで新機能を購入した場合、新機能を有効化するために、既存の JTP をアップグレードする必要があります。

Prinergy 2.2 アップグレードの新機能を購入していない場合は、このセクションをスキップして、「メンテナンス モードの解除」に進んでください。

注意 : この手順では、27 ページの「Prinergy ライセンス キーのアップデート」に従ってライセンス キーをすでにアップデートしたと想定します。

既存の JTP で新機能を有効化するには

1. Prinergy Administrator の [**JTPs**] タブで、修正する JTP を右クリックしてから、[**Properties (プロパティ)**] を選択します。

   [JTP Properties (JTP プロパティ)] ダイアログ ボックスが表示されます。

   [**Features (機能)**] では、JTP に対してすでに有効化されている機能が選択されています。利用可能でも有効化されていない機能は、選択されていません。利用できない機能は無効になっています。

2. 有効化する新機能を選択して、[**OK**] をクリックします。
3. 修正する JTP のそれぞれに対して手順 1 および 2 を繰り返します。

変更する JTP を判別する方法については、Creo サポート センターにお問い合わせください。

注意： Staccato スクリーニングを含むスクリーニング オプションのライセンスは、Prinergy 2.1 以降必ず含まれています。スクリーニングのライセンスについての詳細は、『Prinergy システム管理ガイド』を参照してください。

Creo の Trap JTP と Color Match JTP の追加

新しい Creo の JTP は、これまでの Prinergy 用 Trap JTP と Color Mach JTP に代わるものです。Creo PDF Trapper JTP は、Prinergy においてトラップを処理する JTP です。新しい Creo Color Matcher JTP は、最終出力用のカラー マッチング プルーフのデータを生成する JTP です。

Creo の Trap JTP と Color Match JTP は、リファイン、簡易ページ出力、面付け出力のプロセス プランでの、トラップと色変換の手順において使用されます (面付け出力は、Powerpack の場合はレイアウト出力になります)。

Creo の JTP の新規インストール ライセンスを入手したら、Prinergy System Administrator のツールを使用して、ご使用の Prinergy システムに新しい Creo の Trap JTP と Color Match JTP を追加してください。切り替えツールを使用すると、新しい Creo の JTP で既存のプロセス プランを再利用するように設定することもできます。

新しい Creo の JTP をシステムに追加し、新しい切り替えツールを使用するには、次の条件が必要です。

- Prinergy 2.2.1.3 以降がシステムにインストールされている。
- Creo JTP を使用するための新しい Prinergy ライセンス番号を入手している。新しいライセンス キーの入手方法については、Creo の担当者にお問い合わせください。
- ご使用の Prinergy サーバーに対してシステム管理者権限がある。システム管理者に確認してください。
- Prinergy Workshop クライアント上のプロセス プランに対して読み書きアクセス権がある。システム管理者に確認してください。

詳細については、『Creo Trap and Color Match JTPs Installation Guide』、『Creo Color Matcher JTP Release Notes』、および『Creo PDF Trapper Release Notes』を参照してください。これらはすべて *eCentral.creo.com* で入手していただけます。

メンテナンス モードの解除

プライマリ サーバーとすべてのセカンダリ サーバー、レンダー ステーションのアップグレードが正常に完了したら、システムのメンテナンス モードを解除します。

メンテナンス モードを解除するには

1. プライマリ サーバーで、Prinergy Administrator の [**Tools (ツール)**] メニューから [**Configure System (システム設定)**] を選択します。

   [Configuration Options (設定オプション)] ダイアログ ボックスが表示されます。

2. [**Maintenance (メンテナンス)**] タブの [**Maintenance Mode (メンテナンス モード)**] リストで、[**Off (オフ)**] を選択します。

3. [**OK**] をクリックします。

メンテナンス モードが解除されます。スケジュールされたバックアップ処理が再開されます。

これですべての Prinergy サーバーおよびレンダー ステーションが Prinergy 2.2.1.y にアップグレードされました。

注意 : 32 ページの第 3 章の「CAU を介した Workshop クライアントのアップグレード」の手順を実行して、各サーバーおよびレンダー ステーションで、Workshop のアップグレードを行ってください。

3

Workshop のアップグレード

Prinergy 2.2.1.y への Workshop のアップグレード 32
CAU を介した Workshop クライアントのアップグレード 32

Prinergy 2.2.1.y への Workshop のアップグレード

すべてのサーバーおよびレンダー ステーションが Prinergy 2.2.1.y にアップグレードされると、Workshop クライアントを Prinergy 2.2.1.y にアップグレードできます。

Workshop クライアントは、プライマリ サーバーで CAU (Client Auto Update) ユーティリティを介してアップグレードされます。

CAU を介した Workshop クライアントのアップグレード

Adobe Acrobat 5.0.5 と互換性を持つよう、Workshop および Adobe Acrobat プラグインをアップデートし、適切なマイナー アップデートをインストールすることによって、クライアント アップグレードを完了する必要があります。

サーバーおよびレンダー ステーションに適用されるマイナー アップデートをすべてクライアントに適用する必要はありません。つまりクライアントでは、Adobe Acrobat プラグインや Workshop コンポーネントのアップデートのみを行います。

CAU ユーティリティにより、適切なマイナー アップデートが検出され、インストールされます。クライアントは、CAU ユーティリティによって、プライマリ サーバーにアップされる Workshop クライアント ソフトウェアの新しいバージョンを検出し、そのバージョンにアップデートすることができます。

また、CAU ユーティリティによって Prinergy プラグイン ファイルが自動的にアップデートされます。以前のバージョンのファイルには .bak という拡張子が付けられ、バックアップ ファイルとして保存されます。



注意： Workshop クライアントはすべての Prinergy サーバーに存在します。このため、各サーバーおよびレンダー ステーションでこの手順を実行してください。

クライアント マシンでアップグレードを完了するには

1. プライマリ サーバーが作動していることを確認します。プライマリ サーバーにアクセスするには、Windows の [**スタート**] メニューから、[**プログラム**] > [**Prinergy**] > [**Prinergy Administrator**] の順に選択します。Prinergy Administrator ウィンドウが表示されます。左パネルの一番上に表示されているサーバーがプライマリ サーバーです。

2. クライアント上で、Workshop を開始します。

   [Workshop のログオン] ダイアログ ボックスが表示されます。この時点では、ユーザー名やパスワードを指定する必要はありません。

3. [**プライマリ ホスト**] メニューから、16 ページの「サーバーのアップグレード」でアップグレードしたプライマリ サーバーを選択します。

   クライアントで実行されている Workshop のバージョンが、プライマリ サーバーで実行されている Prinergy のバージョンと自動的に比較されます。これらのバージョンが異なる場合、アップデートであるか新規のインストールであるかに応じて、[**アップデート**] ボタンまたは [**インストールの完了**] ボタンが利用できます。

4. [**アップデート**] ボタンまたは [**インストールの完了**] ボタンをクリックします。

   CAU ユーティリティで、プライマリ サーバーの [**ClientAutoUpdate**] シェアに接続しようとします。

5. シェアが自動的にマウントされると、プライマリ サーバーに接続するプロンプトがダイアログ ボックスに表示されます。[**名前**] および [**パスワード**] を入力してから、[**接続**] をクリックします。

   または、

   シェアが自動的にマウントされないと、シェアをマウントするプロンプトがダイアログ ボックスに表示されます。プライマリ サーバーの [**ClientAutoUpdate**] にシェアをマウントしてから、[**アップデート**] ボタンまたは [**インストールの完了**] ボタンを再度クリックします。

   Workshop が自動的にシャットダウンします。

6. Mac 上で、ダイアログ ボックスが表示され、Adobe Acrobat フォルダの検索プロンプトが表示されます。

   [**その他**] ボタンをクリックし、[**Applications¥Adobe Acrobat 5.0**] フォルダを選択します。

   [Prinergy クライアント自動アップデート] ダイアログ ボックスが表示され、アップデートの進捗状況が示されます。適切なマイナー アップデートが適用され、Prinergy プラグインの Adobe Acrobat 5.0.5 バージョンが [**Prinergy プラグイン**] フォルダにインストールされます。

   アップデートに失敗する場合、Prinergy プラグイン ファイルまたは [**Workshop**] (Windows) または [**Prinergy Workshop**] (Mac) フォルダのファイルがロック (Windows で [**読み取り専用**] に設定) されていないことを確認してください。ロックされたファイルのロックを解除します。これでも問題が解決せず、アップデートが再度失敗する場合、Creo Response Center までお問い合わせください。

   アップデートが完了すると、正常にアップデートしたメッセージが表示されます。

7. [**OK**] をクリックして Workshop を開始します。

   [Workshop のログオン] ダイアログ ボックスが表示されます。[**インストールの完了**] ボタンが [**更新不要**] に変更になり、無効になります。プライマリ サーバーにインストールされたすべての適切なマイナー アップデートが、クライアントにインストールされたからです。

8. Workshop に通常のユーザー名とパスワードでログオンします。

4 アップグレードの完了

Creo へのアップグレード完了の連絡 36

Creo へのアップグレード完了の連絡

アップグレードを完了したら、Creo に Prinergy 2.2 を実行していることを連絡してください。eCentral ユーザーであるかないかによって、以下の 2 とおりの方法でこの連絡を行うことができます。

eCentral ユーザーに登録している場合

1. eCentral (*http://ecentral.creo.com*) にログインします。
2. [**セルフ サポート**] > [**ダウンロード**] をクリックします。[ダウンロード] ページの [**ガイド付きアップグレード**] で、[**Prinergy 2.2**] をクリックします。
3. [Prinergy アップグレード] ページの先頭で、[**サポート要求**] をクリックします。
4. [サポート要求] ページで、[**要求の表示 / アップグレード**] をクリックします。
5. [**要求 ID**] ボックスに、12 ページの「Creo へのアップグレードの開始準備ができていることの連絡」で最初に連絡したときに割り当てられた [**サービス要求 ID**] を入力します。[**要求の一覧**] をクリックします。
6. ページの左側の [**注記の追加**] をクリックし、Prinergy システムが正常にアップグレードされたことを確認します。実行中の Prinergy バージョンを示してください (例、Prinergy 2.2.1.1)。Prinergy 2.2 アップグレードに関するフィードバックを含めてください。

eCentral ユーザーに登録していない場合

1. Creo サポート センターに電話をかけます。
2. サポート センターの担当者に、Prinergy システムのアップグレードが問題なく完了したことを通知してください。ご使用の Prinergy バージョンを示してください (例 : Prinergy 2.2.1.1)。

A

トラブルシューティングのヒント

アップグレード時に発生する一般的な問題 38

アップグレード時に発生する一般的な問題

この章は、アップグレード中に発生する一般的な問題を取り上げ、その解決法を示します。

Mac 環境で Virtual Proofing System (VPS) のインストールに失敗する

問題
Workshop クライアントのアップグレード時に、Virtual Proofing System (VPS) のインストールに失敗する。

原因
StuffIt Expander が Macintosh クライアントにインストールされていません。

対応策
Prinergy 2.2 をアップグレードするには StaffIt Expander が必要です。7 ページの「システム要件」を参照してください。*http://www.stuffit.com/expander/download.html* から無料でダウンロードできます。

StuffIt Expander をインストールし、Workshop クライアントのアップデートをもう一度実行してください。

Workshop と Virtual Proofing System (VPS) のアイコンが正しくない

問題
Workshop と Virtual Proofing System (VPS) ソフトウェアのアイコンが正しくない。

原因
デスクトップ データベースがアップデートされませんでした。

対応策
マシンを再起動するときに OPTION+APPLE を押して、Macintosh デスクトップを再構築してください。

Staccato スクリーニングが機能しない

問題
アップグレード後に Staccato スクリーニングが機能しない。

原因
Prinergy 2.2 では、スクリーニングのライセンス (Staccato を含む) を JTP ごとにチェックします。Prinergy 2.0.7 または Prinergy 2.1 でライセンスを取得せずに使用され、Prinergy 2.2 でも使用を希望されるお客様には、ライセンスをご購入いただく必要があります。

対応策
Creo の販売代理店にお問い合わせください。

Prinergy を何度も再起動する必要がある

問題
環境パスを修正するために、Prinergy が何度も再起動を要求する。

原因
Prinergy が開始されると、環境パスが正しいことをチェックします。複数回、再起動して修正する必要がある場合があります。

対応策
これは正常です。環境パスを修正するには、最大 3 回の再起動が必要になります。

スタートアップ時に Snmpapi.dll のエラー メッセージが表示される

問題
Windows 2000 SP3 がインストールされているサーバーをマシンの再起動後に起動すると、「The procedure entry point SnmpUtilOctetsFree could not be located in the dynamic link library snmpapi.dll」というエラーメッセージが表示される。

原因
snmpapi.dll は、[Program Files] の [Dell] フォルダにインストールされています (正確なパスは ¥Program files¥Dell¥OpenManage¥IT Assistant¥bin です)。SP3 が適用されている場合、このバージョンはアップグレードされません。

対応策
エラー メッセージを消して、通常どおりアップグレードを続行することができます。
アプリケーションで .dll を非表示にして、エラー メッセージが再度表示されないようにするには、¥Program files¥Dell¥OpenManage¥IT Assistant¥bin フォルダにある snmpapi.dll の名前を変更します (例: snmpapi_old.dll など)。

CAU シェアが正しくマウントされない

問題
CAU シェアが正しくマウントされず、Mac クライアントの Workshop をアップデートできない。

原因
現時点で原因は不明です。

対応策
Acrobat が実行されていないことと、ロックされているプラグインがないことを確認してから、サーバーを再起動します。再起動しても CAU をマウントできない場合は、セレクタを使用して ClientAutoUpdate シェアをマウントしてください。

重要なセキュリティのアップデートまたは SP4 を適用した後、Prinergy Workshop (PC) をインストールまたはアンインストールできない

問題
MicroSoft の重要なセキュリティのアップデートまたは SP4 をすべて適用した後、PC で Prinergy Workshop をインストールまたはアンインストールできない。Prinergy Workshop インストーラ / アンインストーラが正しく実行されず、エラー メッセージまたは警告が表示される。

原因
MicroSoft が最近リリースした一部の OS では Java のアップデートが行われなくなり、MicroSoft のセキュリティ パッチまたは SP4 のインストール時に Java ランタイムが削除されていることが原因と考えられます。

対応策
Prinergy Workshop をインストールする前に、*www.sun.com* から Sun Java をダウンロードしてインストールしてください。

B

Prinergy 2.1 に戻す

概要 42

サーバーおよびレンダー ステーションでの Prinergy 2.1 へのダウングレード 42

クライアントでの Prinergy 2.1 のダウングレード.....43

概要

Prinergy 2.2 から Prinergy の以前のバージョンに戻す必要がある場合は、サーバーおよびレンダー ステーションの再インストールの詳細を Creo サポート センターにお問い合わせください。

次に、Client Auto Update (CAU) を使用して、以前の Workshop バージョンに戻す必要があります。または、Prinergy 2.2 Workshop をアンインストールし、前のバージョンの Prinergy Workshop を再インストールすることもできます。



重要： 基本的にこの章では、Prinergy 2.2 へのアップグレード以前にお使いのバージョンが 2.1.0.0 以降であると想定します。Prinergy 2.2 へのアップグレード前のシステムが 2.1.0.0 以前のバージョンである場合、クライアント マシンのロールバックを実行せずに、Creo サポート センターにお問い合わせください。

サーバーおよびレンダー ステーションでの Prinergy 2.1 へのダウングレード

Prinergy 2.2 をサーバーやレンダー ステーションからアンインストールし、Prinergy の前のバージョンに戻す場合は、Creo サポート センターに連絡してください。この作業はご自身で行わず、Creo にご相談ください。

Creo サポート センターの担当者が、リモートまたは電話によるサポートを行い、サーバーおよびレンダー ステーションを以前の Prinergy バージョンに戻します。

クライアントでの Prinergy 2.1 のダウングレード

Creo サポート センターの担当者が、サーバーおよびレンダー ステーションの Prinergy を前のバージョンに戻した後で、各 Workshop クライアントに対して以下のいずれかの操作を実行する必要があります。

1. CAU を使用: これは、2 つの手順から成るプロセスです。まず [**Update (更新)**] ボタンから CAU を実行し、[**Finish Installation (インストールの完了)**] ボタンから再度 CAU を実行します。
2. Workshop インストーラを使用して [**Finish Installation (インストールの完了)**] ボタンから CAU を使用します (詳細は、第 3 章の「Prinergy 2.2.1.y への Workshop のアップグレード」を参照してください)。

C

Workshop インストーラの起動

Workshop インストーラの起動.....46
インストールの完了 49
Workshop のアップグレード 52
PC への Creo Virtual Proofing System のインストール 53

Workshop インストーラの起動

インストーラを起動する手順は、クライアントで実行されているオペレーティング システム (Windows、Mac OS 9.2、または Mac OS 10.1.3 以降) によって異なります。

Windows を実行しているクライアントでインストーラを起動するには

1. 管理者権限をもつユーザーとして、クライアント マシンにログオンします。
2. プライマリ サーバーの [**PrinergyWkspInstall_2.2.1**] をブラウズします。
3. [**PrinergyWorkshopIntel¥Workshop**] フォルダで、**PrinergyWorkshopInstaller.exe** をダブルクリックしてインストーラを起動します。

   Prinergy Workshop Installer ウィンドウが表示されます。



   重要 : インストーラでこの画面が表示されるまで他のクライアントでインストーラを起動しないでください。起動するとインストールに失敗します。

4. 49 ページの「インストールの完了」へ移動し、インストールを完了します。

Mac OS 9.2.x を実行しているクライアントでインストーラを起動するには

1. 管理者権限をもつユーザーとして、クライアント マシンにログオンします。
2. シェアをマウントし、プライマリ サーバーの [**PrinergyWkspInstall_2.2.1**] をブラウズします。
3. [**PrinergyWorkshopMac¥MacOS**] フォルダで、**PrinergyWorkshopInstaller** をダブルクリックしてインストーラを起動します。

   インストーラで、現在インストールされている MRJ (Mac Runtime for Java) アプレットがチェックされます。MRJ のバージョンが 2.2.4 以前の場合、MRJ 2.2.5 インストーラが起動します。

4. MRJ バージョン 2.2.5 のインストールを続行するプロンプトが表示されたら、[**はい**] をクリックします。

   MRJ のインストールが完了すると、システムを再起動するメッセージがダイアログ ボックスが表示されます。しかし、これは Mac OS 8.6 を実行しているクライアント マシンにのみ適用されます。クライアントで Mac OS 9.2 以降が実行されている場合、システムは再起動されません。代わりに、インストーラを再起動する必要があります。



図 11: MRJ 警告

5. [**OK**] をクリックします。
6. MRJ インストール指示に従って、デフォルト選択を受け入れます。
7. [**終了**] をクリックして、MRJ インストールを終了し、デスクトップに戻ります。
8. [**PrinergyWorkshopMac¥MacOS**] フォルダで、**PrinergyWorkshopInstaller** をダブルクリックしてインストーラを起動します。

   この場合、MRJ をインストールするかを尋ねるプロンプトは表示されません。

   Prinergy Workshop Installer ウィンドウが表示されます。



   重要: インストーラでこの画面が表示されるまで他のクライアントでインストーラを起動しないでください。起動するとインストールに失敗します。

9. 49 ページの「インストールの完了」へ移動し、インストールを完了します。

Mac OS 10.1.3 を実行しているクライアントでインストーラを起動するには

1. 管理者権限をもつユーザーとして、クライアント マシンにログオンします。
2. シェアをマウントし、プライマリ サーバーの [**PrinergyWkspInstall_2.1.1**] をブラウズします。
3. [**PrinergyWorkshopMac¥MacOSX**] フォルダで、**PrinergyWorkshopInstaller** をダブルクリックしてインストーラを起動します。

   Prinergy Workshop Installer ウィンドウが表示されます。



   重要: インストーラでこの画面が表示されるまで他のクライアントでインストーラを起動しないでください。起動するとインストールに失敗します。

4. インストールの完了 へ移動し、インストールを完了します。

インストールの完了

インストーラが起動した後、プロンプトに従ってインストールを完了します。

インストールを完了するには

1. Prinergy Workshop Installer ウィンドウの [言語] メニューから、希望の言語を選択して、[**OK**] をクリックします。

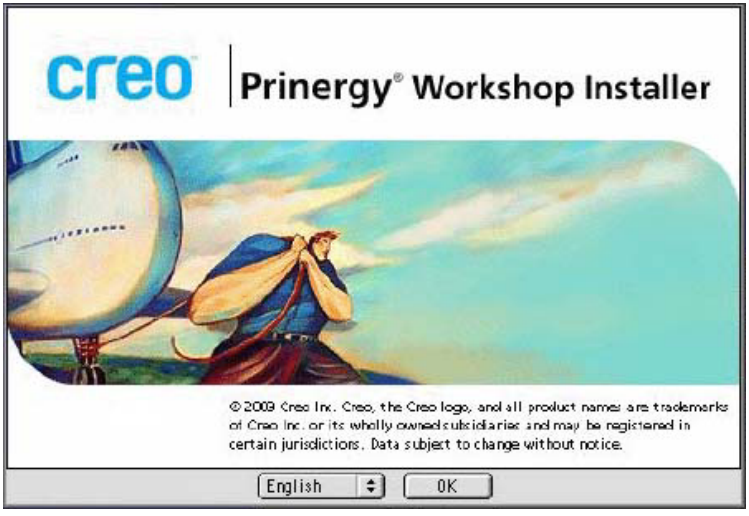


図 12: Prinergy Workshop Installer ウィンドウ

開始画面が表示されます。

2. [**次へ**] をクリックします。

[インストール フォルダの選択] ウィンドウが表示されます。

3. [**次へ**] をクリックして、デフォルトの場所を許可します。

注意： デフォルト以外の場所に Workshop 2.0 または 2.1 がインストールされていて、そのバージョンのユーザー初期設定を維持するには、Workshop 2.0 または 2.1 の場所をポイントして Workshop 2.2.1.0 の場所を変更します。

注意： Mac クライアントでインストーラを実行している場合は、インストール先がシステムに設定されているアプリケーション フォルダであり、ユーザーが作成したアプリケーション フォルダではないことを確認してください。

[製品機能の選択] ウィンドウが表示されます。

4. インストールのタイプを、[**標準**]、[**最小**]、または [**カスタム**] から選択します。

   ほとんどの場合、[**標準**] を選択して Workshop、Sentinel Drivers、Virtual Proofing System (VPS)、および Prinergy Refiner をインストールします。

   Workshop および Prinergy Refiner だけをインストールする場合、[**最小限**] を選択します。

   インストールするコンポーネントの組み合わせを指定する場合、[**カスタム**] を選択します。

   注意: Prinergy 2.0 または 2.1 で Virtual Proofing System を実行し、([**Virtual Proofing System**] を選択した状態で) [**最小限**] または [**カスタム**] を選択して再度インストールする場合、Virtual Proofing System メモリの設定に行った変更はすべて失われます。Virtual Proofing System の再インストール後にメモリの割り当てを変更する場合、[**Virtual Proofing System**] アイコンをクリックしてから、[**ファイル**] メニューから [**情報を見る ...**] > [**メモリ**] の順に選択します。

5. [**次へ**] をクリックします。

   a. [**カスタム**] を選択すると、[製品コンポーネントの選択] ウィンドウが表示されます。インストールする以下のコンポーネントのいずれか、またはすべてを選択します。

      - **Creo Virtual Proofing System***
      - **Prinergy Refiner**
      - **Sentinel Drivers**
      - **Workshop**

   b. [**次へ**] をクリックします。

   Workshop が現在クライアント マシンにインストールされている場合、[以前の Prinergy Workshop バージョンが削除されました] ダイアログ ボックスが表示され、Prinergy 2.2 をインストールする前に、既存の Workshop バージョンの名前変更または削除をするメッセージが表示されます。

   注意: Workshop の以前のバージョンがインストールされていない場合、または手順 3 で Workshop 2.0 または 2.1 がインストールされている場所以外に Workshop 2.2.1.0 をインストールすると指定した場合、このダイアログ ボックスは表示されません。ただし、Workshop 2.0 または 2.1

からユーザー初期設定を維持する場合、[インストール フォルダの選択] 画面に戻り、Workshop 2.0 または 2.1 の場所をポイントするよう Workshop 2.2.1.0 のインストール場所を変更します。

*Creo Virtual Proofing System コンポーネントは、Mac 用 Workshop インストーラのオプションとして利用できます。PC の場合、このオプションは、Workshop インストーラと同じ共有上で利用可能な別のインストーラを経由してインストールできます。詳細については、53 ページの「PC への Creo Virtual Proofing System のインストール」を参照してください。

6. Prinergy 2.2 のインストール完了後、約 1 ヶ月正常に作動していることを確認した上で、Workshop の前のバージョンの名前を変更してから削除することを推奨します。

   [**名前変更**] ボタンをクリックすると、[Prinergy Workshop の名前の変更] ウィンドウが表示されます。

   a. [**名前**] ボックスに、現在の名前とは異なる Workshop の前のバージョンを入力します。

   b. [**次へ**] をクリックします。

      Prinergy 2.2 のインストールが完了し、正常に作動すると、アンインストーラを使用して以前の Workshop バージョンを削除するための [推奨] ダイアログ ボックスが表示されます。

   c. [**OK**] をクリックします。

   [**削除**] ボタンをクリックすると、以前の Workshop バージョンを削除している間に [しばらくお待ちください] ウィンドウが表示されます。

7. 手順 6 で [**削除**] をクリックするとメッセージが表示され、Workshop の一部のファイルがロックされているために削除できない、というメッセージが表示されます。その場合は [**OK**] をクリックします。

   削除できないファイルは **Workshop - Delete Me** フォルダに移動します。Workshop 2.2.1.0 をインストールしたら、このフォルダを削除します。

   [プリインストールの要約] ウィンドウが表示され、インストールされるコンポーネント、インストールの場所、必要な領域が表示されます。

8. [**インストール**] をクリックします。

   [情報] ダイアログ ボックスが表示され、クライアントの環境によってはインストールに時間を要することを伝えるメッセージが表示されます。

9. [**OK**] をクリックします。

   インストールの進捗状況を示すステータス バーが、[Prinergy Workshop のインストール] ウィンドウに表示されます。インストールには、数分かかる可能性があります。たとえば、3 分ほどで済む場合もあれば、20 分かかる場合もあります。しばらくお待ちください。

   インストールが完了すると、ダイアログ ボックスが表示され、インストールの完了の確認プロンプトが表示されます。

10. [**OK**] をクリックします。

    [インストール完了] ウィンドウが表示されます。

11. [**完了**] をクリックします。

12. Workshop の前のバージョンの一部のファイルが削除できないことを示すステップ 7 のメッセージを受け取った場合、それらは **Workshop - Delete Me** フォルダに移動されます。このフォルダを削除してください。

Workshop のアップグレード

Client Auto Updater (CAU) は、既存の Workshop バージョンを削除したり、名前を変更したりして、2.2.1.y バージョンをインストールし、以前のバージョンからの初期設定を含めます。

注意： Intel Client Installer CD (Windows クライアント) および Mac Client Installer CD (Mac クライアント) にも CAU があります。しかし多くの場合、プライマリ サーバーから CAU を起動する方が、さらに確実な方法といえます。

使用する CAU は、クライアントが実行しているオペレーティング システムによって異なります。

- Windows
- Mac OS 9.2
- Mac OS 10.1.3 以降

各 Workshop のクライアントに 2 度アクセスしないようにするには、このセクションで説明した手順を実行してから、同じクライアント上で 32 ページの「CAU を介した Workshop クライアントのアップグレード」で説明された手順を実行します。最初のクライアントで両方の手順を完了したら、次のクライアントで手順を繰り返すなどします。前のクライアントの CAU で [Prinergy Workshop インストーラ] ウィンドウが表示されるまで、他のクライアントでアップグレードを開始しないでください。開始するとアップグレードに失敗します。

Workshop のサーバー バージョンは、サーバーまたはレンダー ステーションの各 Prinergy インストールに含まれています。しかし、サーバーに Workshop のクライアント バージョンがインストールされていることもあります。その場合、サーバーで Workshop の正しいクライアント バージョンにアップグレードするには、この章で説明された手順も実行する必要があります。

Workshop のクライアント バージョンがサーバーにインストールされているかを確認するには、サーバー上で Workshop を起動します。Workshop の古いバージョン (2.2.1.y ではなく 2.1.0.y) が起動すると、52 ページの「Workshop のアップグレード」で実行したサーバーのアップグレードでは、Workshop のサーバー バージョンのみがアップグレードされます。つまり、クライアント バージョンもサーバーにインストールされますが、アップグレードする必要があります。

PC への Creo Virtual Proofing System のインストール

PC 用の Prinergy Workshop ソフトウェア をインストールする場合、Prinergy 2.2 サーバーのアップグレード プロセスにより、ご使用のプライマリ Prinergy サーバーで PC 用 Virtual Proofing System のインストーラが自動的にコピーされます。

PC 用 Virtual Proofing System は、単独のプログラムとしてインストールできます。

PC 用 Virtual Proofing System をインストールするには

1. プライマリ Prinergy サーバーで、**¥¥<primary_server_name>¥PrinergyWkspInstall_2.2.1¥PrinergyWorkshopIntel¥Workshop** 共有フォルダに移動し、[**VirtualProofingSystemForPCInstaller.exe**] をダブルクリックします。
   インストール ウィザードが表示されます。
2. 画面の指示に従って、インストールを完了します。

インストール プログラムは、インストール中に別のフォルダを指定しない限り、[**Program Files¥Creo Virtual Proofing System**] フォルダにソフトウェアをインストールします。

PC 用 Virtual Proofing System のライセンスは、Prinergy または iMPAct 製品のライセンスに含まれています。PC 用 Virtual Proofing System の使用に、それ以上のライセンスは必要ありません。

PC 用 Virtual Proofing System では、.vps および .prv ファイルのみがプレビューされます。

D

クライアントから Prinergy 2.2 をアンインストール

クライアントから Prinergy 2.2 をアンインストール 56

クライアントから Prinergy 2.2 をアンインストール

この手順は、Windows、Mac OS 9.2、および Mac OS 10.1.3 クライアントでは異なります。

Windows を実行しているクライアントから Prinergy 2.2 をアンインストールするには

1. Windows の [**スタート**] メニューから、[**設定**] > [**コントロール パネル**] > [**アプリケーションの追加と削除**] の順に選択します。

   [アプリケーションの追加と削除] ウィンドウが表示されます。

2. [**Prinergy Workshop**] を選択し、[**削除**] ボタンをクリックします。
3. アンインストール操作プロンプトに従います。
4. アンインストールが完了したら、[**閉じる**] ボタンをクリックして、[アプリケーションの追加と削除] ウィンドウを閉じます。

Mac OS 9.2 を実行しているクライアントから Prinergy 2.2 をアンインストールするには

1. [**Prinergy Workshop**] フォルダへブラウズして、[**Uninstall**] フォルダをダブルクリックします。
2. [**Uninstall Prinergy Workshop**] をダブルクリックして、アンインストールを開始します。
3. プロンプトに従います。

Mac OS 10.1.3 を実行しているクライアントから Prinergy 2.2 をアンインストールするには

1. [**Prinergy Workshop**] フォルダへブラウズして、[**Prinergy Workshop**] を CTRL キーを押しながらクリックします。

   メニューが表示されます。

2. [**パッケージ コンテンツの表示**] を選択します。

   [Prinergy Workshop] フォルダが開きます。

3. [**アンインストール**] フォルダをダブルクリックします。
4. [**Prinergy Workshop のアンインストール**] をダブルクリックして、アンインストールを開始します。
5. プロンプトに従います。

用語集

Adobe Acrobat	Adobe の PDF (Portable Document Format) で文書を作成、編集するためのデスクトップ ソフトウェア。
Adobe Extreme	Prinergy の中心技術の一部を提供する、高性能な印刷生産向けのアーキテクチャ。これには、PDF と Portable Job Ticket Format (PJTF) に対するサポートが含まれ、通信構造が下層にあります。 Adobe Extreme コンポーネントには、JTP (Job Ticket Processors) と Extreme Coordinator が含まれています。
Aladdin Systems StuffIt Expander	ファイル解凍アプリケーション。
Basic Backup	Prinergy のデフォルト バックアップ オプション。[Oracle Backup Manager] を通して、Prinergy データベースをローカル ディスクに定期的にバックアップする手段です。システム ドライブをバックアップする手段ではありません。
CAU (Client Auto Update) ユーティリティ	Prinergy のプライマリ サーバーにアップされる Workshop クライアント ソフトウェアの新しいバージョンを検知し、そのバージョンにアップデートするための、Prinergy Workshop のクライアント コンピュータ ユーティリティ。
eCentral	Creo のオンライン サービス。ユーザー登録すると、ソフトウェアをダウンロードしたり、サポートを受けたり、Creo の製品情報を入手したりすることができます。
InSite	印刷業者の製作ワークフローへの Web ポータルです。InSite によって、末端顧客 (印刷物の購入者) にとってジョブへの信頼のおける、管理されたアクセスが可能になります。InSite を使用して、顧客はファイルをアップロードおよびダウンロードし、リモートでページをプルーフし、注釈をつけ、変更を要求し、PDF ファイルを承認し、処理の履歴やジョブ ステータス情報を表示できます。
JTP (Job Ticket Processor)	Adobe Extreme のジョブ チケットの処理に必要な手順を実行するソフトウェア。JTP は Prinergy Administrator を使用して設定できます。

Oracle Backup Manager	ローカル ディスクに Oracle データベースのバックアップを設定および計画するために使用するソフトウェア。Prinergy システムに含まれています。
Oracle データベース	Prinergy のジョブ情報を保存するデータベース。ファイル属性およびヒストリー履歴を含むすべての Prinergy ファイル情報が含まれます。コンテンツは含まれません。 プライマリ サーバーにあり、Prinergy システム 1 つに対して、1 つだけの Oracle データベースがあります。
PDF (Portable Document Format)	ページの LW、画像、およびテキスト（必要なフォントすべてを含む）を保存するための信頼できるファイル形式。
PPU (Prinergy Patch Utility)	Prinergy ソフトウェア アップデートをインストールする時に使用するコマンド ライン ユーティリティ。インストール済みのアップデートに関する情報を取得、削除することもできます。
PreCheck.exe	Prinergy 2.2 Pre-Installation Requirement Check アプリケーション (PreCheck.exe) は、アップグレードの実行前に、対処が必要な競合に関する情報を顧客に警告します。
Prinergy Administrator	Prinergy システム管理者のユーザー インターフェイスとなるソフトウェア。Prinergy Administrator では、JTP の設定、サーバーの追加と削除、Prinergy サーバーの起動と停止、システムの監視が行えます。Prinergy システムの各サーバーで自動的にインストールされます。一部のタスクは、プライマリ サーバーの Prinergy Administrator で実行する必要があります。
Prinergy Online Backup	[Prinergy Online Backup] オプションは、ディスクおよびメディアに Prinergy システムのオンライン バックアップを実行する手段。つまり、Prinergy の実行中にシステムがバックアップされます。システムを通常どおりに使用でき、ファイルを開いてもバックアップに影響はありません。このオプションには、Oracle Backup Manager および Prinergy Backup ソフトウェアが含まれます。
Prinergy Workshop	Prinergy システムのメイン クライアント ソフトウェア。システムのメイン ユーザー インターフェイスで、Prinergy のオペレーターがジョブおよびプロセス プランを作成、編集、および破棄できます。Macintosh または Windows 2000 のいずれでも実行できる Java アプリケーションです。

Print Console

ワークフロー ソフトウェアを出力デバイスに接続する独立型デバイス管理ソフトウェア。

PUpdate.exe

PUpdate.exe アプリケーションは、Prinergy 2.2 にアップグレードし、メジャー アップデートおよびマイナー アップデートを適用するために使用するソフトウェアです。

アップグレードとアップデートの違い

アップグレードには料金がかかりますが、アップデートは無料です。Prinergy ソフトウェア アップグレードは、以下を表す 4 桁の a.b.x.y という形式に従います。

- a はメジャー リリースです
- b はマイナー リリースです
- x はメジャー アップグレードです
- y はマイナー アップデートです

たとえば、2.2.1.0 はマイナー リリースとメジャー アップグレードを表します (メジャー アップグレードでは、y は常に 0 です)。また、2.2.1.1 はマイナー アップデートを表します (y の数値は新しいマイナー アップデートがリリースされるたびに増加します)。

クライアント マシン

Prinergy のメイン ユーザー インターフェイスである Prinergy Workshop を実行しているコンピュータ。Prinergy 2.1 を実行するには、クライアント マシンは Creo により認定された Windows 2000、Macintosh 9.2、または Macintosh 10.1.3 以降でなければなりません。

ジョブ

作業を整理するために使用される単位。通常ジョブは、特定の出版のコンポーネントすべてに対応しますが、そうでない場合もあります。ジョブを作成すると、Prinergy によってジョブ フォルダと、ジョブを追跡するためのデータベース エントリが作成されます。

ジョブ チケット

Adobe Extreme においては、Prinergy で実行するべき単一または複数の処理手順に関連する情報の集合体。これには、作動する JTP とその順序を指定するマップまたはルートが含まれます。また、処理するファイル、処理オプション、宛先、および面付けプランに関する情報を含むこともできます。

セカンダリ サーバー

Prinergy システム内の、プライマリ サーバーでないサーバー。つまり、Prinergy サーバー ソフトウェアを実行しており、Oracle データベースを保存していません。セカンダリ サーバーでは、分散処理を促進するために複数の JTP を起動できます。Prinergy システムには、複数のセカンダリ サーバーが含まれることがあります。

バックアップ

ディスク クラッシュが発生したときなどの障害を回復する目的で、ディスクのパーティション、ファイル システム、またはファイル システムディレクトリ構成の一部の完全なコピーを保存する操作。

プライマリ サーバー

Prinergy システムのメイン サーバー マシン。これには、Oracle データベースなど、すべての Prinergy Server コンポーネントが含まれます。プライマリ サーバーは Prinergy Workshop からの要求を調整し、データベースを維持します。Prinergy システムには、プライマリ サーバーは 1 台だけあります。

マイナー アップデート

a.b.x.y のような 4 桁のバージョン番号で識別される、Prinergy ソフトウェアのアップデート。a はメジャー ソフトウェア リリース、b はマイナー リリース、x はメジャー アップデート、y はマイナー アップデートの番号です。y の数値は、新しいマイナー アップデートがリリースされるたびに増加します。たとえば、2.0.7.17 と 2.0.7.18 は双方とも Prinergy 2.0.7 のマイナー アップデートです。

メンテナンス モード

Prinergy ソフトウェアを無効なバックアップを作成せずにアップデートできるシステム モード。メンテナンス モードでは、ジョブの実行を継続しながら Prinergy バックアップを一時的に無効にすることができます。メンテナンス モードをオフにすると、定期的なバックアップ処理がスケジュールどおりに実行されます。

レンダー ステーション

出力デバイスに接続されているセカンダリ サーバー。通常はジョブや他の種類の JTP の保存に使用されることはありません。その代わりに、出力用のレンダー ファイルのみに使用できます。

索引

数字

2.1
  クライアントへの再インストール，43
  サーバーとレンダーステーションでの再インストール，42
2.2.1.0
  クライアントからアンインストール，56
2.2.1.0 のアップグレード
  CD からコピー，14
  サーバーへのインストール，18
2.2.1.y マイナー アップデート
  クライアントへのインストール，32
  サーバーへのインストール，18

A

Adobe Acrobat
  必要なバージョン，9
  プラグイン、アップデート，32

C

CarbonLib の要件，8
CAU，32
Client Auto Update ユーティリティ，32
Creo Response Center
  アップデートの連絡，36
  アップデート前の連絡，12
  電話番号，6
CS Xpose，8

I

InSite
  アップグレード，10
  アンインストール，10
  現在のバージョンの確認，10
  サービスの再開，16
  サービスの停止，16

J

JTP
  新機能の有効化，28
  ステータスの確認，28

O

Oracle Backup Manager，11
Oracle データベース
  バックアップの確認，10
  バックアップの実行，11，12

P

PANTONE ライブラリ
  再ロード，27
PPU
  CD からコピー，14
  インストール，15
  スナップショット
    得られたコンポーネント，17
PreCheck.exe アプリケーション，15
Prinergy 2.2.1 Upgrade CD
  コンテンツ，14
Prinergy バージョン
  概要，6
Print Console の要件，8

S

Service Pack。Windows 2000 を参照

V

VPS、メモリの増設，50

W

Windows 2000
  Service Pack レベル，7，9
  オペレーティング システム、確認，9
Workshop インストーラ
  完了，49
  起動，46

あ

アップグレード チェック リスト，3

お

オペレーティング システム
  確認，9
  必要条件，9

く

クライアント
  2.2.1.y マイナー アップデートのインストール，32
  Adobe Acrobat プラグインのアップデート，32

こ

このマニュアルで使用されたフォント，viii

さ

サーバー
  2.2.1.y へのアップデート，18

し

新機能
  JTP で有効化，28
  ライセンス キーのアップデート，27
重要記号，ix

す

スナップショット，17

ち

チェックリスト
  アップグレード，3
注意記号，ix

て

データベース バックアップ
　最終の確認，10
　実行，11，12

と

トラブルシューティング，37

ひ

ヒント記号，ix

ま

マニュアルでの表記規則，viii

め

メモリ、VPS のための増設，50
メンテナンス モード
　既存，30
　入力，15

も

問題，38

よ

要件，7
用語集，57

ら

ライセンス キー、
　アップデート，7，27

www.creo.com | creo™